

2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 レオン自動機株式会社

コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 幹央

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 福田 忠男 (TEL) 028-665-1111
管理統括部長

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	5,281	22.0	△3	—	25	—	3	—
2021年3月期第1四半期	4,328	△36.0	△118	—	△34	—	△147	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 34百万円(—%) 2021年3月期第1四半期 △59百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
2022年3月期第1四半期	0.15		0.15	
2021年3月期第1四半期	△5.50		—	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	34,543	26,398	76.2	982.39
2021年3月期	34,124	26,632	77.8	991.12

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 26,326百万円 2021年3月期 26,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,200	6.9	840	△20.9	920	△21.8	650	△57.4	24.26
通期	25,050	12.4	2,080	48.1	2,120	30.7	1,420	△11.7	52.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	28,392,000株	2021年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,593,857株	2021年3月期	1,593,686株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	26,798,209株	2021年3月期1Q	26,798,593株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い3度目の緊急事態宣言が4月に発せられ、個人消費や企業の生産活動に再度影響を及ぼしました。大規模な経済対策の実行やワクチン接種の本格化により景気回復が期待されていますが、複数の変異株の感染が拡大しており、国内景気の低迷が継続しております。

海外経済におきましては、中国では他地域に先行して景気回復が確認され、欧米各国ではワクチン接種の進展によりロックダウンが解除されるなど持ち直しの動きが見られました。一方で、米中対立が多面で表面化しており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが主要市場とする食品業界は、新型コロナウイルス感染症の影響を引続き大きく受けております。国内及びインバウンド観光客の激減により観光土産物産業は厳しい状況にあります。また、外出機会の減少による「巣ごもり消費」需要は続いており、コンビニ・スーパー業界は堅調に推移しました。また、新型コロナウイルス感染症からの回復が早いアジア地域では、景気回復に合わせた食品製造機械需要の回復が確認され、受注が増加しました。

当社グループは、食の安心・安全へのニーズの高まりに対応すべく、レオロジー（流動学）を基礎とする独自の開発技術をベースに、安全面や衛生面の機能性を向上させるソフト技術を充実してまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響が想定以上に長期間にわたり継続しておりますが、お客様や従業員の安全面を最優先に確保したうえでの営業活動を継続し、国内外の食品業界への提案を継続してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,281百万円（前年同四半期比22.0%増）、営業損失は3百万円（前年同四半期は営業損失118百万円）、経常利益は25百万円（前年同四半期は経常損失34百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失147百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、連結相殺消去後の数値を、セグメント利益は、連結相殺消去前での本社一般管理費を除いた数値を記載しております。

食品加工機械製造販売事業(日本)

日本国内では食品成形機の売上は増加しましたが、製パンライン等、修理その他、仕入商品の売上が減少しました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響により、販売機会が減少したことなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は1,371百万円(前年同四半期比9.1%減)となりました。

セグメント利益(営業利益)は128百万円(前年同四半期比31.3%増)となりました。

食品加工機械製造販売事業(北米・南米)

アメリカ地域では、製パンライン等の売上は減少しましたが、食品成形機、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比37.9%増加となりました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復し始めていることなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが107円62銭から109円49銭の円安となったため、外部顧客に対する売上高は373百万円(前年同四半期比40.3%増)となりました。

セグメント利益(営業利益)は16百万円(前年同四半期はセグメント損失9百万円)となりました。

食品加工機械製造販売事業(ヨーロッパ)

ヨーロッパ地域では、製パンライン等の売上は減少しましたが、食品成形機、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでの売上高が前年同四半期比4.4%増加となりました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復し始めていることなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが118円46銭から131円96銭の円安となったため、外部顧客に対する売上高は785百万円(前年同四半期比16.3%増)となりました。

セグメント利益(営業利益)は70百万円(前年同四半期比68.7%増)となりました。

食品加工機械製造販売事業(アジア)

アジア地域では、仕入商品の売上は減少しましたが、食品成形機、製パンライン等、修理その他の売上が増加しました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復し始めていることなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は791百万円(前年同四半期比31.6%増)となりました。

セグメント利益(営業利益)は249百万円(前年同四半期比22.5%増)となりました。

食品製造販売事業(北米・南米)

アメリカ地域では、オレンジベーカリーの売上高が現地通貨ベースで、前年同四半期比57.2%増加となりました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復し始めていることなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが107円62銭から109円49銭の円安となったため、外部顧客に対する売上高は1,840百万円(前年同四半期比59.9%増)となりました。

セグメント利益(営業利益)は46百万円(前年同四半期はセグメント損失70百万円)となりました。

食品製造販売事業(日本)

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は118百万円(前年同四半期比5.2%減)となりました。

セグメント利益(営業利益)は15百万円(前年同四半期比27.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて542百万円増加し、17,503百万円となりました。これは、売掛金の回収により、現金及び預金が808百万円増加、受取手形及び売掛金が741百万円減少、仕掛品が527百万円増加したことなどが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて124百万円減少し、17,039百万円となりました。これは、ソフトウェアの減価償却費が増加し、無形固定資産が81百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて418百万円増加し、34,543百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて792百万円増加し、5,871百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が271百万円増加、前受金が734百万円増加、賞与引当金が236百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて139百万円減少し、2,273百万円となりました。これは、長期借入金が74百万円減少、長期繰延税金負債が64百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて652百万円増加し、8,144百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて234百万円減少し、26,398百万円となりました。これは、利益剰余金が264百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は概ね当初予想通りに推移しております。2021年5月11日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,484,219	8,293,006
受取手形及び売掛金	2,690,355	1,948,892
商品及び製品	4,170,084	4,281,518
仕掛品	975,989	1,503,543
原材料及び貯蔵品	328,369	372,231
その他	1,326,759	1,119,903
貸倒引当金	△14,548	△15,206
流動資産合計	16,961,228	17,503,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,017,115	15,133,456
減価償却累計額	△7,737,700	△7,836,912
建物及び構築物（純額）	7,279,414	7,296,543
機械装置及び運搬具	7,931,499	7,923,425
減価償却累計額	△6,380,314	△6,448,982
機械装置及び運搬具（純額）	1,551,185	1,474,443
工具、器具及び備品	1,924,816	1,931,110
減価償却累計額	△1,728,089	△1,747,171
工具、器具及び備品（純額）	196,726	183,938
土地	4,093,968	4,094,480
リース資産	45,286	45,286
減価償却累計額	△42,045	△42,703
リース資産（純額）	3,241	2,582
建設仮勘定	35,058	49,136
有形固定資産合計	13,159,594	13,101,125
無形固定資産	1,463,960	1,382,730
投資その他の資産		
投資有価証券	976,863	977,343
退職給付に係る資産	1,407,227	1,422,221
その他	161,992	160,612
貸倒引当金	△6,036	△4,744
投資その他の資産合計	2,540,046	2,555,431
固定資産合計	17,163,601	17,039,288
資産合計	34,124,830	34,543,178

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	740,599	1,011,799
短期借入金	734,006	476,454
リース債務	2,334	1,811
未払費用	587,624	990,606
未払法人税等	231,165	120,374
前受金	1,205,429	1,940,331
賞与引当金	485,486	248,973
役員賞与引当金	11,600	6,050
未払金	959,295	935,086
その他	121,154	139,614
流動負債合計	5,078,696	5,871,102
固定負債		
長期借入金	1,406,934	1,332,143
リース債務	1,154	937
繰延税金負債	573,083	508,376
再評価に係る繰延税金負債	347,422	347,422
資産除去債務	36,240	36,246
その他	48,705	48,550
固定負債合計	2,413,540	2,273,677
負債合計	7,492,237	8,144,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,069,407	7,069,407
利益剰余金	14,591,084	14,327,072
自己株式	△773,996	△774,213
株主資本合計	28,238,245	27,974,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	345,996	340,563
土地再評価差額金	△1,708,996	△1,708,996
為替換算調整勘定	△466,919	△436,856
退職給付に係る調整累計額	151,997	157,402
その他の包括利益累計額合計	△1,677,921	△1,647,886
新株予約権	72,268	72,268
純資産合計	26,632,592	26,398,398
負債純資産合計	34,124,830	34,543,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	4,328,660	5,281,658
売上原価	2,529,108	3,051,466
売上総利益	1,799,552	2,230,192
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	11,997	41,774
荷造運搬費	160,451	292,327
貸倒引当金繰入額	1,728	386
販売手数料	89,857	122,712
給料及び手当	613,863	698,885
賞与引当金繰入額	181,217	138,843
役員賞与引当金繰入額	7,700	6,050
退職給付費用	45,518	38,192
旅費及び交通費	50,255	56,791
減価償却費	86,161	152,190
研究開発費	122,061	88,533
その他	547,156	597,127
販売費及び一般管理費合計	1,917,970	2,233,814
営業損失(△)	△118,418	△3,622
営業外収益		
受取利息	803	1,062
受取配当金	11,921	10,979
物品売却益	1,667	3,381
為替差益	2,981	2,942
補助金収入	51,880	1,914
電力販売収益	8,343	7,348
その他	12,974	9,563
営業外収益合計	90,573	37,193
営業外費用		
支払利息	3,176	2,948
電力販売費用	2,788	2,456
その他	531	2,590
営業外費用合計	6,496	7,994
経常利益又は経常損失(△)	△34,341	25,575
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△34,341	25,575
法人税、住民税及び事業税	32,619	82,051
法人税等調整額	80,519	△60,447
法人税等合計	113,138	21,604
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△147,480	3,971
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△147,480	3,971

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△147,480	3,971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96,326	△5,432
為替換算調整勘定	△8,624	30,062
退職給付に係る調整額	70	5,404
その他の包括利益合計	87,772	30,035
四半期包括利益	△59,708	34,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△59,708	34,006

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症による影響は現在も継続しており、度重なる緊急事態宣言発令や、複数の変異株の発生など、景気動向への不透明感は依然として継続しております。

当社グループでは、業績は緩やかに回復すると仮定しているものの、ワクチン接種状況や収束時期の見通しに不透明感が強いことから、今後も一定程度影響が続くとの仮定を置き、繰延税金資産の回収可能性の判断及び固定資産の減損損失計上要否等の会計上の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期やその後の経済状況の回復に関する仮定について重要な変更はありませんが、仮定に変化が生じた場合には、将来における当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	1,509,070	266,108	675,844	601,637	3,052,661
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	565,054	56,516	—	—	621,571
計	2,074,125	322,624	675,844	601,637	3,674,232
セグメント利益又は損失(△)	98,157	△9,778	41,564	203,622	333,567

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	1,151,150	124,847	1,275,998	4,328,660
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	621,571
計	1,151,150	124,847	1,275,998	4,950,231
セグメント利益又は損失(△)	△70,272	20,972	△49,300	284,266

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、フランス
- (3) アジア……………中国、タイ

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	284,266
セグメント間取引消去	16,160
本社一般管理費(注)	△418,845
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△118,418

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	1,371,643	373,247	785,948	791,602	3,322,441
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	840,081	13,074	—	—	853,156
計	2,211,725	386,321	785,948	791,602	4,175,597
セグメント利益	128,853	16,834	70,106	249,431	465,226

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	1,840,864	118,352	1,959,217	5,281,658
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	853,156
計	1,840,864	118,352	1,959,217	6,134,815
セグメント利益	46,086	15,164	61,250	526,476

（注）各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ
- (3) アジア……………中国、韓国、台湾

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	526,476
セグメント間取引消去	△21,732
本社一般管理費（注）	△508,366
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△3,622

（注）本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	1,488,792	-	1,488,792
製パンライン等	773,100	-	773,100
修理その他	1,028,833	-	1,028,833
仕入商品	22,640	-	22,640
その他	9,076	-	9,076
食品等	-	1,959,217	1,959,217
顧客との契約から生じる収益	3,322,441	1,959,217	5,281,658
外部顧客への売上高	3,322,441	1,959,217	5,281,658

(重要な後発事象)

該当事項はありません。